

平成
21
年度

しまね 建築・住宅コンクール



島根県

はじめに

近年、世界の各地で大地震が頻発しております。昨年の中国四川省での大地震では、建築物の倒壊などにより約7万人もの尊い人命が失われ、行方不明者も約2万人と、壊滅的な被害をこうむっています。我が国においても、大地震がいつどこで発生してもおかしくない状況であり、その対策は緊急の課題となっております。

このような状況の中、県といたしましては、2年前に建築物の耐震化に向けた目標と施策を定めた「建築物耐震改修促進計画」を策定し、耐震対策を総合的に進めてきているところであります。

このたびの「しまね建築・住宅コンクール」は、この耐震対策の一つとして行ったものであり、優れた建築技術や地震防災活動等を表彰し、県民及び事業者の皆様方の自主的な取り組みを促進することを目的としております。本年度はテーマを「安全・安心な住まいづくり」として募集しましたところ、小学生からの地震防災ポスター作品27作品を含む42作品のご応募をいただきました。

今回は、優秀賞が技術部門から1件、奨励賞が技術部門から3件、特別賞として小学生のポスター作成に対する取り組みが1件、また、委員長賞としてポスター作品の5件が選定されました。受賞されました皆様に、心からお祝いを申し上げます。

今のところ地震を完全に予知することは困難であり、ひとたび大地震が発生すれば甚大な被害をもたらされる恐れがあります。こうしたことから、県民一人ひとりが大地震の恐ろしさと悲惨さを十分認識し、自らの命と地域社会の安全を守るため、日ごろから地震への備えを行うことが大切であると考えております。

県といたしましても、地震における人的被害の軽減に最も効果的である「建築物の耐震化」に向けて取り組んでおりますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

終わりに、受賞作品の選定をしていただきました審査委員の皆様様に、厚くお礼を申し上げます。

平成21年11月

島根県土木部建築住宅課

課長 波多野 修

選考総評

平成 21 年度のテーマは「安全・安心な住まいづくり」とし、技術部門と活動部門の 2 部門に分けて募集しました。技術部門については、耐震工事に関する計画・設計・工事や耐震改修工事を伴うリフォーム工事に関する計画・設計・工事を募集しました。また、活動部門については、地域での防災訓練や研修会の実施などの防災活動や県内の小中学生を対象とした地震防災ポスター作品を募集しました。

応募総数は 42 件で、技術部門 12 件、活動部門は地震防災ポスター 27 件を含む 30 件の応募がありました。審査においては、技術部門及び活動部門ともに、まず、耐震化に向けた今後のモデルとなり、波及効果が期待できるものかどうかを検討されました。続いて、耐震化の促進に貢献するものかどうか、また、創意・工夫が見られるものかどうかという点について検討されました。

その結果、今回は最優秀賞の該当はありませんでしたが、優秀賞 1 件、奨励賞 3 件、特別賞 1 件、今回特別に設けた委員長賞 5 件の総数 10 件が選定されました。優秀賞は技術部門から「菱浦魚集緑地広場整備（菱浦蔵改修工事）」、奨励賞は技術部門から「本妙寺改修工事」、「美保関橋津屋改修工事」、「K 邸」、特別賞は活動部門から島根大学教育学部附属小学校 3 年 1 組の地震防災ポスター作成の取り組みを選定しました。さらに地震防災ポスター作品については、優秀な 5 作品を委員長賞として選定しました。

今回の応募は、耐震改修工事、技術提案、防災活動に寄与する自社製品など幅広く、テーマに沿った提案がありましたが、今後のモデルとなり、波及効果を期待できるかどうかの視点からは、更なる工夫が求められるとの意見があったように思われます。また、地震防災ポスターについては、小学生ながらも、地震防災に対する意識の高さがうかがえました。

昨今の厳しい経済情勢から、あまり耐震化が進まない状況にありますが、今回の提案、作品等が、幅広い視点から検討を得て、県民に親しまれる今後のモデルとなり、防災意識の向上と耐震改修の促進へとつながっていくことを審査員一同期待しています。

審査委員長 熊谷 昌彦

審査委員

吾郷 康子

(島根県商工会女性部連合会元会長)

川井 香織

(社団法人島根県建築士会女性委員長)

熊谷 昌彦

(米子工業高等専門学校教授)

土井 敏實

(浜田市建設部建築住宅課長)

矢野 敏明

(社団法人島根県建築士事務所協会会長)

敬称略 / 50 音順

審査経過

募集期間

平成 21 年 7 月 10 日～9 月 25 日

募集結果

応募総数 42 件

内訳

技術部門 12 件

防災活動部門 30 件

審査 平成 21 年 10 月 27 日

表彰式 平成 21 年 11 月 16 日

優秀賞

●技術部門

題名

菱浦魚集緑地広場整備(菱浦蔵改修工事)

所在地 隠岐郡海士町

事業主体 海士町

設計者 村上建築設計事務所 村上 修二

施工者 戸鳴建築 戸鳴 知純

提案概要

この蔵は、隠岐郡海士町の玄関口フェリー乗り場キンチャモニヤセンター前にあった蔵で、母屋は解体され蔵のみ現存しております。

町の人達がこの蔵を解体しなかったのは、古の職人の“わざ”の価値を理解していたからでしょう。

蔵の壁には、立派な鯛を抱えた“こて絵”の存在、そしてよく見ると棟には、青海（せいがい）と呼ばれる瓦の棟ノシ納めがあり、この蔵が海の蔵としての繁栄を表すものであることが解ります。

建築年や施工者など不明となっていました。確かな建築技術は誰もが認めるもので、保存への原動力となり、ギャラリーとして転用改修を行うこととなりました。

構造補強としては、蔵内部に骨組みを構築し内部から外の蔵全体を支える設計を考えました。

石組基礎の内側周辺をコンクリート巻き、土台・2階胴梁、胴差下に水平繋ぎ貫材を入れボルトで緊結。また大黒柱の設置や新しい添え柱と筋かい・梁に仕口ダンパーを設置するなどをし水平耐力を補強。構造補強の後、丸1年を掛け左官仕上げを行いギャラリーとして完成しました。

選定理由

町の拠点のギャラリーとして活用することにより、訪れる多くの県民に「わざ」を備えた伝統的建築物に触れてもらうことができる。あわせて耐震改修のあり方についても印象付けることができると考えられる。耐震改修を行って様々な伝統を継承する点、多くの県民にPRできる点が評価された。



改修後



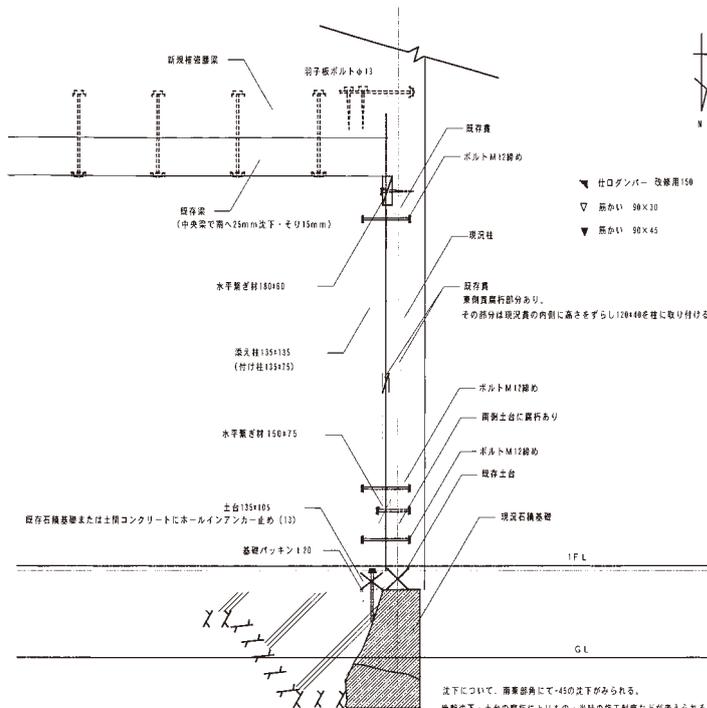
内部側に新規土台・水平繋ぎ貫材の設置



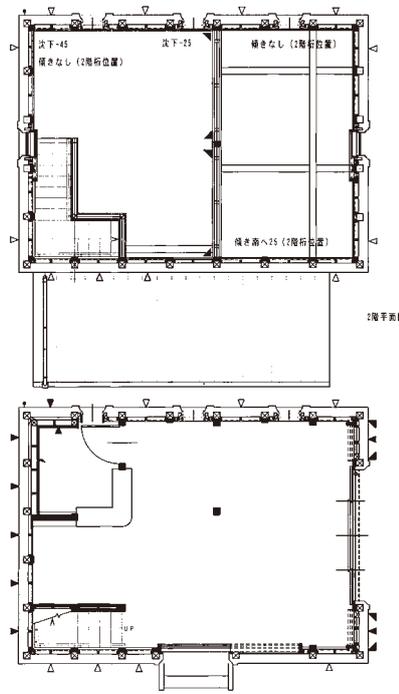
内部側添え柱・筋かい設置



下屋根撤去・外壁仕上げ撤去の状態



構造補強概略図



以下について、重要部角にて45の立下がみられる。
 地盤式土台の腐朽によりもの、当時の施工制度などが考えられる。
 土台の腐朽によるものであれば今回工事の木部補強で押入られると考える。
 地盤式土台あるいは、石積み等の積み等による立下の場合には別途補強が必要と考える。
 今回工事による影響を調査するため、4階の石積基礎天端の立下を計測しておく。
 今回工事の経緯量による立下が認められた場合は石積み基礎下の注入地盤改良等の補強が必要と考えられる。

奨励賞

●技術部門

題名

美保関橋津屋改修工事（古民家）

所在地 松江市美保関町

事業主体 美保関地区活性化協議会

設計者 有限会社 丸谷新市建築設計事務所 代表取締役 丸谷 新市

施工者 カナツ技建工業 株式会社 代表取締役 金津 任紀

提案概要

本建物は、江戸末期に建築された木造伝統的軸組工法による民家（古民家）であります。
この古民家を地域の拠点として活用する為に、今後更に100年利用する為のモデルとして計画しました。
このような古民家であっても今後長きに渡って使用する為には、耐震・耐火・劣化対策・省エネ等々可能な範囲で性能の向上に努める必要があります。
古民家の魅力を損なわずに“建物の性能向上を図る”このコンセプトを多くの人に知ってもらう為のモデルであります。

選定理由

江戸末期に建築された木造伝統的軸組工法による古民家を、耐震、耐火、省エネ等のあらゆる点で現代の建築物として改修した事例である。県内に多数現存する古民家、空き家の利活用の促進が期待される点で評価を受けた。良質な住宅ストックを活用した点でも評価できる。



改修後(北西面)



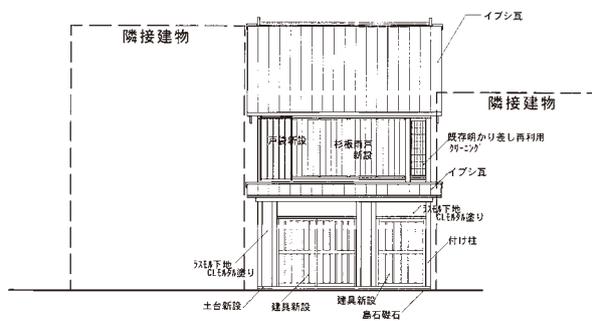
改修後(西面)



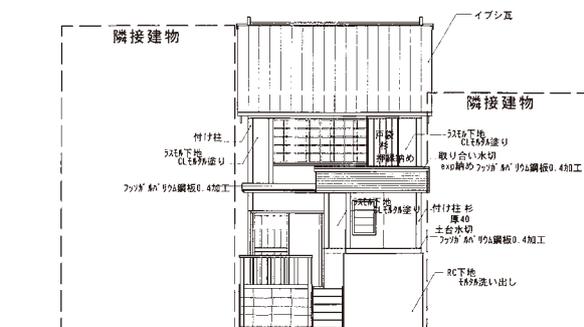
改修後(西面)



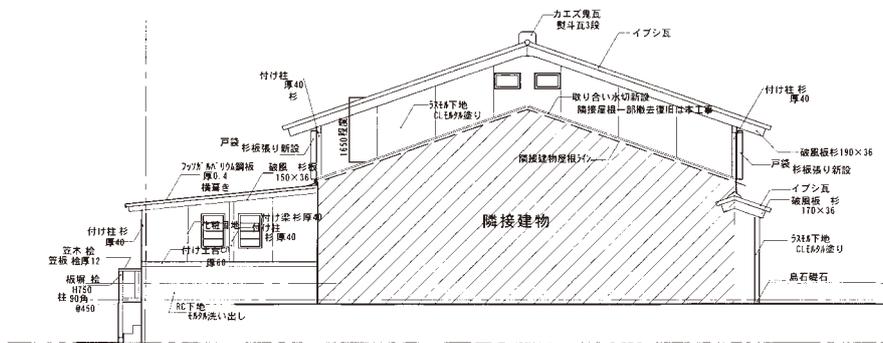
改修後 和室



北面



南面



東面

立面図

奨励賞

●技術部門

題名

K 邸

所在地

松江市内

事業主体

個人

設計者

株式会社 三協住宅建築設計事務所 代表取締役 坂本 憲治

施工者

株式会社 三協住宅 代表取締役 坂本 憲治

提案概要

昭和 54 年に建てられた住宅を松江市の耐震診断費補助を受け、リフォーム工事に合わせて耐震改修工事を行いました。（耐震診断の結果、評点が 0.7 未満であったので改修により 1.0 とした）工事については、松江市木造住宅耐震改修補助及び松江市木造住宅耐震改修促進補助を受けて実施しております。

基礎部分には、ホールダウン金物の打込み、構造材・軸組材には各種接合金物を取付補強しました。耐力壁には、面材耐震壁（JAS 構造用合板）を新設し、基礎のひび割れにはエポキシ樹脂を注入し、耐震化を行いました。これにより希望の広いリビングも確保出来ました。

選定理由

リフォーム工事の需要は多いが、耐震改修工事のみの需要は少ない中、リフォーム工事にあわせて耐震改修工事を行った事例であり、今後の耐震化に向けた PR になることが期待された。また、地方公共団体の補助制度を活用した事例であり、事業者の費用負担軽減について PR することにより、あわせて耐震化の普及が期待できる点での評価となった。

奨励賞

●技術部門

題名

本妙寺改修工事

所在地 出雲市平田町

事業主体 本妙寺改修工事建設委員会

設計者 石川建築設計事務所 石川 良一

施工者 株式会社 御船組 代表取締役 高橋 理旦

提案概要

本工事は寺創 700 年を記念して本堂の耐震改修、会館等の改築が行われたものであります。築 170 年を経過しており基礎から上部構造に至るまで耐震上の問題がありましたが、財政上改築工事は無理との結論に達し、改修工事で進めることとなりました。

基礎は、玉石基礎を厚さ 300mm のコンクリート床版で補強し、床組を台輪土台及びくも筋交いで剛性をはかり、大地震時には免震構造となるように設計しました。

上部構造は、初期剛性の高い筋交いや壁パネル又は、ダンパー付き壁では解放性がなく本堂の機能が果たせません。そこで初期剛性は低いのですが、面格子壁にすると最大耐力が 3 倍以上得られることが実験で証明されているので開放性のある面格子壁（120mm 角）としました。

時節から財政的に厳しい面もありましたが、檀家の皆様方の努力により完成に至りました。

選定理由

築 170 年を経過した大規模木造建築物で、寺という特性から本堂の開放性を確保するための配慮がなされた補強工事となっている。面格子壁という一般的な耐力壁ではあるが、県内での事例は比較的少ない。今後の県内での普及が期待される点が評価された。

特別賞

●活動部門

題名 地震防災ポスター

応募者 島根大学教育学部附属小学校 3年1組

選定理由

個々の応募によらず、クラス単位での応募によるものであり、「地震防災」について、授業の一環として児童に考えさせる教育が評価された。中でも、地震の恐ろしさを図画力や色使い等でうまく表現したもの、今回のテーマである「安全・安心な住まいづくり」に基づき、想像力ある近未来的な安全・安心な住まいを表現したものが委員長賞として特別に評価された。

委員長賞



青山 維吹



浦島 拓也

委員長賞



甲山 碧



泉 花菜



小村 瑠乃



齋藤 諒介



泉 幸太



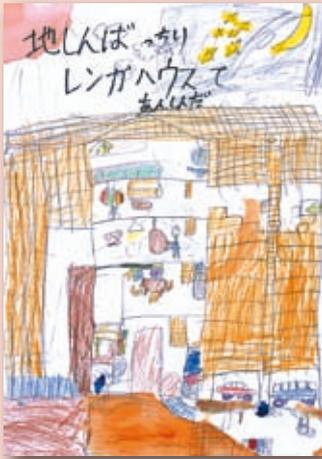
梶原 美紀子



角田 ひとみ



今若 珠月



加田 峻真



高木 佑



高梨 恵



濱野 日向子



牧野 剛大



外浦 理都子



林 恵里奈



三成 桃香



永岡 里穂



原 詩衣乃



宮本 レオニ



永瀬 遥人



藤田 博之



森山 敬之



濱口 美如



堀 亮近



山本 空音

平成21年度しまね建築・住宅コンクール応募要領

近年、大地震が全国各地で頻発しており、いっどこで大地震が発生してもおかしくない状況であるとの認識が広がりつつあります。このような状況の中、県といたしましては、耐震改修促進法に基づき平成19年2月に「島根県建築物耐震改修促進計画」を策定しました。平成19年度にはその計画に基づき、耐震対策を総合的に進める「建築物等地震対策促進事業」を創設し、本年度も引き続き実施しているところです。

その事業の一つとして「しまね建築・住宅コンクール」を開催し、優れた建築物、建築技術及び地震防災活動等を表彰する制度を通じて、県民及び事業者等の自主的な取り組みを助長することを目的としています。

1. 募集の概要

(1) 応募資格・内容

平成21年度のテーマは『安全・安心な住まいづくり』としました。

このテーマに沿って、主に島根県内において、平成21年9月25日までに実施された取り組み等について、以下の部門別に募集します。(個人・団体・企業等、どなたでも応募できます。)

募集部門	内 容	
技術部門	耐震工事	・耐震・制震・免震技術を取り入れた工事の計画・設計・工事 ・耐震マット等による設備機器の耐震対策工事 ・耐震性の劣るブロック塀の補強工事又は生垣等への変更 など
	リフォーム工事 (耐震改修を伴うもの)	・現在の住居スタイルに合わせた内部改修に係る設計・工事 ・外装材の老朽化に伴う改修工事の設計・工事 など
活動部門	地域防災活動	・住居内の家具及び病院の医療機器の転倒防止対策等の取組み ・保育所、学校及び大学等における地震防災教育、活動及び研究 ・災害発生に備えた企業活動、機器の開発 ・地域での自治会・婦人会による防災訓練 など
	地震防災ポスター	・テーマに沿ったポスターの作成 ポスター内には標語を記入して下さい。 例：●地震災害の恐ろしさ ●防災の心構え ●ボランティアへの参加を呼びかけるもの等に関すること など ★応募者全員に記念品を用意しています。

(2) 応募方法 (提出物)

応募用紙に必要事項を記入し事務局に提出していただきます。

なお、内容を説明するための資料として、可能な範囲で次のものを添えていただきます。

■技術部門

- ・写真 カラー又はモノクロ写真(サービスサイズ相当)(12cm×8cm程度)数枚程度
- ・図面 A4(縮小版)数枚程度

■活動部門

- 活動状況が判るパンフレットやホームページを印刷したもの 等
- 作成ポスター：ハッチ(270×380)、A3(297×420mm)の画用紙、ケント紙 等

(3) 応募締め切り

平成21年9月25日(金) (郵送の場合、当日の消印のあるものは、有効とします。)

(4) 応募及び問い合わせ先

〒690-0883 松江市北田町35-3 財団法人島根県建築住宅センター TEL 0852-26-4577 FAX 0852-25-9581

2. 審査・表彰

(1) 優秀案の選考方法

しまね建築・住宅コンクール審査委員会を設けて審査し、部門別に、最優秀賞、優秀賞、奨励賞 等を選考します。

公平な審査を行うため、学識経験者、建築団体関係者及び行政関係者等で構成する「審査委員会」を設置し、各部門別に優れた応募作品等を選考します。

入賞者は、審査委員会の選考結果に基づき知事が決定します。

(2) 審査委員

しまね建築・住宅コンクール審査委員会は、次の各委員により構成されます。(以下敬称略、五十音順)

吾郷 康子(島根県商工会女性部連合会元会長) 川井 香織(社団法人島根県建築士会女性委員長)
熊谷 昌彦(米子工業高等専門学校教授) 土井 敏實(浜田市建設部建築住宅課長)
矢野 敏明(社団法人島根県建築士事務所協会会長)

(3) 表彰及び公表

入賞者に対して、知事による表彰状と副賞の授与を行います。

また、優れた取り組みを県民に広く周知するため、県及び市町村の広報メディアを活用し情報提供します。

表彰・公表は、10月下旬～11月上旬を予定。

3. その他

(1) 応募内容に関する知的財産権は応募者にあり、必要な場合は応募者自身が権利保護等の手続きを行っておいください。

(2) 他者の知的財産権を侵害する恐れがない様に、応募者にて確認しておいてください。主催者は関知しないこととします。

(3) 他者の知的財産権を侵害する疑いのある場合及び、応募内容に虚偽の申請があった場合は、発表後であっても受賞を取り消します。

また、虚偽の申請による係争について、主催者は一切責任を負いません。

(4) 応募書類等の取り扱いは主催者が最善の注意を払いますが、不可抗力による損害については責任を負いません。

(5) 応募に際して提出していただいた応募用紙及び資料は、原則として返却いたしません。

(6) 提出物について、島根県は、報告書等の広報用印刷物の作成のほか、その他広報等において、無償で使用する権利を有するものとします。

島根県内の耐震診断・耐震改修制度について

地震は私たちが油断した頃に発生し、平和な日常を一瞬にして奪い去ります。地震から身を守るためには、我が家の耐震性能を知ることが重要です。耐震基準が改正された昭和56年以前の住宅にお住まいの方は、まず耐震診断をお受け下さい。その上で状況に応じて耐震改修を行きましょう。以下の5市では、木造住宅の耐震診断や耐震改修を実施される方に対し、費用の一部を助成しています。



松江市にお住まいの方

木造住宅耐震改修事業費補助事業・木造住宅耐震診断士派遣事業及び診断費補助事業

(助成金額)

- 耐震診断費3万円のうち、2万円を助成(自己負担1万円)
- 耐震改修費の約23%の2/3を助成(32,600円/㎡を限度とし、50万円を上限とする)

(助成対象)

- 階数が2以下の木造一戸建て(又は長屋建て)住宅で、昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- 耐震改修助成については、耐震診断の上部構造評点が1.0未満であるもの

(受付期間・募集戸数)

- 受付随時(申込先着順)
- 募集戸数は診断25戸、改修5戸

(受付窓口)

- 松江市役所建築指導課
(Tel 0852-55-5342)

浜田市にお住まいの方

木造住宅耐震化等促進事業

(助成金額)

- 耐震診断費の9/10を助成(上限4万5千円)
- 改修設計費用の2/3を助成(上限40万円)
- 耐震改修費の約23%を助成(80万円/棟を上限)
- 耐震性能の低い住宅の解体費用の約23%を助成(上限40万円)

(助成対象)

- 階数が2以下の木造住宅で、昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- 耐震改修助成については、現行の耐震基準に適合していないもの。

(受付期間・募集戸数)

- 受付随時(申込先着順)
- 募集戸数は診断10戸、改修2戸、設計2戸、解体5戸(予定)

(受付窓口)

- 浜田市役所建築住宅課
(Tel 0855-22-2612)

出雲市にお住まいの方

木造住宅耐震化促進事業

(助成金額)

- 耐震診断費の2/3(一般診断法は4万4千円、精密診断法は12万円を上限)

(助成対象)

- 階数が3以下の木造一戸建て住宅で、昭和56年5月31日以前に着工されたもの

(受付期間・募集戸数)

- 受付随時(申込先着順)
- 募集戸数は一般診断法2戸、精密診断法1戸

(受付窓口)

- 出雲市役所建築住宅課
(Tel 0853-21-6720)
- 耐震改修を考えておられる方はご相談ください

大田市にお住まいの方

木造住宅耐震診断事業費補助事業

(助成金額)

- 耐震診断費の2/3(上限6万円)

(助成対象)

- 階数が2以下の木造一戸建て住宅、併用住宅(住宅以外の用途の面積が1/2未満)、長屋建て住宅又は共同住宅で、昭和56年5月31日以前に着工されたもの

(受付期間・募集戸数)

- 受付随時(申込先着順)
- 募集戸数は診断5戸

(受付窓口)

- 大田市役所都市計画課
(Tel 0854-82-1600(代))

江津市にお住まいの方

木造住宅耐震化促進事業

(助成金額)

- 耐震診断費の2/3(上限5万円)

(助成対象)

- 階数が2以下の木造一戸建て(又は長屋建て)住宅で、昭和56年5月31日以前に着工されたもの

(受付期間・募集戸数)

- 受付随時(申込先着順)
- 募集戸数は診断5戸

(受付窓口)

- 江津市役所都市計画課
(Tel 0855-52-2501(代))

☆増築等の状況によっては助成対象とならない場合もあります。また、上記については平成22年2月1日現在の情報です。詳しくは各市役所の受付窓口までお問い合わせください。

【耐震改修促進税制について】

上記以外の地域にお住まいの方でも、一定の基準を満たす耐震改修を行った場合、固定資産税等の優遇措置が受けられる場合があります。詳しくは県建築住宅課まで。

島根県建築住宅課 松江市殿町1 Tel0852-22-5226



平成21年度 しまね建築・住宅コンクール受賞者一覧

賞名	題名	受賞者	
----	----	-----	--

■技術部門

優秀賞	菱浦魚集、緑地広場整備(菱浦蔵改修工事)	事業主体	海士町	
		設計者	村上建築設計事務所	村上 修二
		施工者	戸鳴建築	戸鳴 知純
奨励賞	本妙寺改修工事	事業主体	本妙寺改修工事建設委員会	
		設計者	石川建築設計事務所	石川 良一
		施工者	株式会社 御船組	代表取締役 高橋 理旦
奨励賞	美保関橋津屋改修工事(古民家)	事業主体	美保関地区活性化協議会	
		設計者	有限会社 丸谷新市建築設計事務所	代表取締役 丸谷 新市
		施工者	カナツ技建工業 株式会社	代表取締役 金津 任紀
奨励賞	K 邸	事業主体	個人	
		設計者	株式会社 三協住宅建築設計事務所	代表取締役 坂本 憲治
		施工者	株式会社 三協住宅	代表取締役 坂本 憲治

■活動部門

特別賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組の皆さん
委員長賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組 青山 維吹
委員長賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組 梶原美紀子
委員長賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組 甲山 碧
委員長賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組 角田ひとみ
委員長賞	地震防災ポスター	応募者	島根大学教育学部附属小学校	3年1組 永岡 里穂

平成21年度 しまね建築・住宅コンクール

島根県土木部建築住宅課